

主日礼拝

2024 年 09 月 22 日
午前 10 時 30 分

前奏 「神の光よ、我らの心を照らしたまえ」
(H.ウィラン)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず
常に主を覚えてあなたの道を歩け。

そうすれば

主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。」

(箴言 3 : 5~6)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ちち子せいれいのひとりの主よ、さかえとち
からはた一だ主に あれ一、と一こしえまで一。
アーメン。

交読詩編 23 : 1~6

一緒に：主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。

司式者：主はわたしを青草の原に休ませ

会衆：憩いの水のほとりに伴い

一緒に：魂を生き返らせてくださる。

司式者：主は御名にふさわしく

わたしを正しい道に導かれる。

会衆：死の陰の谷を行くときも

わたしは災いを恐れない。

司式者：あなたがわたしと共にいてくださる。

会衆：あなたの^{むち}鞭、あなたの杖

それがわたしをカづける。

司式者：わたしを苦しめる者を前にしても

会衆：あなたはわたしに食卓を整えてくださる。

司式者：わたしの頭に香油を注ぎ

会衆：わたしの^{さかすき}杯^{あひ}を溢れさせてくださる。

一緒に：命のある限り

恵みと慈しみはいつもわたしを追う。

主の家にわたしは帰り

生涯、そこにとどまるであろう。

賛美 16-1,3,5 「われらの主こそは」

The Lord is King! lift up thy voice
詞：Josiah Conder, 1789-1855

WARRINGTON
曲：Sacred Harmony, Vol. 1, 1784

1 われらの主こそは
3 せいぎの王ならはば、
5 生くるも死ぬるも われらの主のもの、
せかいの王ならはば、
くんにぐにしまし、
ぜんちのよ、おのまき、
てんちのいとどろく、
よろこびにひれふせよ。
みまへにのうたごえ。

1 われらの主こそは 世界の王ならはば、 3 正義の光は くまなく照らせば、
くにくに 喜びたえよ。 ぜんち 全地よ、おのき み前にひれふせ。

5 生くるも死ぬるも われらの主のもの、
てんち 天地にとどろく さんび うたごえ 賛美の歌声。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエエレイソン キリエエレイソン
しゅよあわれみをしゅよあわれみ
キリエエレイソン
しゅよあわれみ

聖書 ヨハネによる福音書 15:5a~b

新約(新共同訳)P198

5 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。
人がわたしにつながっており、わたしもその人につながって
いれば、その人は豊かに実を結ぶ。

賛美 509 「光の子になるため」

I want to walk as a child of the light
詞： Kathleen Thomerson, 1964
曲： Kathleen Thomerson, 1964
HOUSTON

1 ひかりの子になるため ついてゆきます。
2 主のかがやきみるため すずみゆきます。
3 主のふたたびくる日を まちのぞみます。

この世を—て—らすため—こ—られた主—イエ—ス—に—
—しめ—さ—れた—こ—みち—を—み—か—み—の—み—も—と—に—
—しん—ご—を—ま—も—り—ぬ—き—、—み—ま—え—に—た—つ—日—を—

(くりかえし)
主のうちに闇はなく 夜も昼も輝く。
主のうちに闇はなく 夜も昼も輝く。

こころのなかをわが主よ、照らしてください。
こころのなかをわが主よ、照らしてください。

- 1 光の子になるため ついて行きます。
この世を照らすため 来られた主イエスに。
主のうちに闇はなく 夜も昼も輝く。
心の中をわが主よ、照らしてください。
- 2 主の輝き見るため 進みます。
示された小路を み神のみもとに。
主のうちに闇はなく 夜も昼も輝く。
心の中をわが主よ、照らしてください。

- 3 主の再び来る日を 待ち望みます。
信仰を守りぬき、み前に立つ日を。
主のうちに闇はなく 夜も昼も輝く。
心の中をわが主よ、照らしてください。

説教 イエスさまに連なる「その枝」として

賛美 516 「主の招く声」

How clear is our vocation, Lord
詞： Fred Pratt Green, 1903—2000
曲： C. Hubert H. Parry, 1848—1918
REPTON

1 主の招く声が 聞こえてくる。
2 主よ、この世の重荷と びきを負い、あえいでいる。
3 主の招く声が 聞こえてくる。
4 主よ、この世の重荷と びきを負い、あえいでいる。
5 主の招く声が 聞こえてくる。
6 主よ、この世の重荷と びきを負い、あえいでいる。

この世の重荷と びきを負い、あえいでいる。
主の招く声が 聞こえてくる。
主よ、この世の重荷と びきを負い、あえいでいる。
主の招く声が 聞こえてくる。
主よ、この世の重荷と びきを負い、あえいでいる。
主の招く声が 聞こえてくる。
主よ、この世の重荷と びきを負い、あえいでいる。

- 1 主の招く声が 聞こえてくる。
日ごとにやしない、新しく生かす、
私たちが 招く声が。
- 2 呼ばれるこの身は 力も無く、
この世の重荷と わずらいの中で
くびきを負い、あえいでいる。
- 3 み声に応えた 聖徒たちの
歩みに従い、私たちもまた
主の名を身に 帯びて進もう。
- 4 新しい課題も 日々わが
十字架を負われた 主が与えられた
つとめとして 励んでゆこう。
- 5 主の招く声が 聞こえてくる。
こんなに小さな 私たちさえも
みわざのため 用いられる。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメンアーメン

後奏 「神の恵みゆたかに受け」(讃 21-91) (D.ケルヴィーン)

司式 光成 由樹
説教 梅田 玲奈 牧師
(広島女学院中学高等学校・聖書科)
奏楽 大代 恵

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。

《梅田玲奈牧師プロフィール》

広島女学院中学高等学校、同志社神学部・神学研究科卒業。
20歳の時に京都の洛西教会で受洗、大学院2年生の時に平安教会で派遣神学生。現在、広島女学院中学高等学校聖書科
教員。
甘いものが好きです。